

# らしんばん



## 議会報告

令和7年2月議会号

発行日 / 令和7年3月31日

発行: 静岡県議会議員 鈴木すみよし事務所



### 1. 県議会2月定例会開催(概要説明)

【会期2月18日～3月17日まで】

静岡県議会2月定例会が閉会となり、令和7年度当初予算や2月補正予算、組織改正、副知事人事案など、全ての議案が承認されました。

令和7年度予算関係では、開会日(2月18日)に緊急性の高い物価高騰対策予算の先議が行われ、その日のうちに可決、翌日から実行できる体制となりました。

令和7年度は鈴木知事が就任後初めての予算編成であり、「幸福度日本一の静岡県」を目指し、次期総合計画の経営方針に沿って、8つの重点取組や未来を拓く積極的なチャレンジに集中配分するなど、次の2つの方針により、予算を編成しました。

8つの重点取組は、①伊豆半島をはじめとした防災の推進。②新たな産業活力の創造。③再生可能エネルギー等の導入促進。④次世代モビリティの導入促進。⑤地域交通のリ・デザイン。⑥こども・子育て支援の充実。⑦医療・福祉人材の確保。⑧外国人の受入と多文化共生社会の構築です。

未来を拓く積極的なチャレンジは、職員などからアイデアを募り、アボガド産地化などがあります。

行政経営の推進では、①政策の推進に向けた組織体制の強化や、②中期財政計画に沿った今後10年間の財政健全化に向けた取り組みが始まります。

当初予算の規模と歳出の状況は、一般会計1兆3,725億円余(6年度当初比4.3%)、特別会計9,488億円余(6年度当初比6.6%)、企業会計877億円余(6年度当初比8.9%)で、合計2兆4,089億円余(6年度当初比5.4%)となりました。

一般会計歳出予算の増額の背景には、75歳以上人口の増加に伴う後期高齢者医療給付費負担金の増などがあります。

財政健全化では、10年間で県債残高を1,000億円の削減することを目ざし、県民ニーズに応えるためには、経済効果をあげる施策を積極的に展開し税収確保が重要となります。

令和6年度は、鈴木知事の県政運営の最上位計画となる次期総合計画の「経営方針」が示されたので、令和7年度は具体的な取り組みを示す「行動計画」が明らかになる年度となります。議会としてはどのような計画が示されるのか、静岡県の大きな転換点となることを踏まえ、十分な議論を実現していきたいと思っております。

目次	ハイライト	P1
	1. 県議会2月定例会開催(概要説明)	P1
	2. 常任委員会(総務委員会)の論戦から	P2
	3. 令和7年度静岡県当初予算	P2~3
	4. インド グジャラート州訪問	P4
	5. 視察・研修報告、国へ提出される意見書	P4
	6. 地域の課題と進捗状況、ホットなつづやき	P4



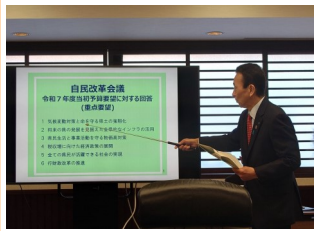
静岡県老人福祉施設協議会から、一向に収まらない物価高騰に対する緊急要望を提出していただいた。



静岡県は今後、インドとの交流を強化する。IT分野など高度人材確保を含め、グジャラート州へ訪問。



労働人口の減少や人材不足を補うため、外国人材に関心が高まる。バングラディッシュ関係者が来庁。



所属会派の令和7年度当初予算要望に対する結果を、直接、知事から説明を受ける。ほぼ満額回答。



「静岡県民の歯や口の健康推進条例」を改正する条例検討委員会委員長としてほぼ原案が固まった。



2月23日「富士山の日」に開催された式典で、新たに「富士五湖自然首都圏フォーラム共同宣言」が行われた。

ハイライト

今年度は、県議会総務委員会に所属し、議会運営委員会委員長、党県連副会長に就任

鈴木すみよしブログ 検索

最新の活動情報をブログで配信中。





## 2. 常任委員会(総務委員会)の論戦から(質問項目概要)

令和7年度当初予算や組織改正、財政の在り方など、鈴木知事にとって初めての県政運営の基盤が明らかになる定例会のテーマで、私は財政分野を中心に当局を質しました。

### 1. 国の令和7年度地方財政対策の本県への影響

- ①「103万円の壁」見直しと県財政への影響
- ②地方財政の健全化と臨時財政対策債
- ③本県の中期財政計画の策定について
- ④中期財政計画の課題について
  - ア) 本県を牽引・創造する取り組みとは
  - イ) 大災害発生に備えるための財政的余力の確保とはどのような解釈をすればいいか  
財政的余力は何を持って示すか
  - ウ) 防災に対する投資が多い本県の事情と  
県債残高の抑制とのバランス
  - エ) 令和6年度及び7年度の県税収入見込み

### 2. 知事直轄組織関係議案の概要

### 3. 仮想空間分野の人づくり・仕事づくりの推進

- ①VRに関するデジタル人材の不足と確保

②R7年度新たな取組（関連企業の誘致）

③育成した人材の県内定着について

### 4. 多文化共生施策の推進

このうち、地方財政対策による本県への影響については、私のブログ（3月9日）に詳細な内容について載せましたのでお目通しください。

今回の質問の背景には、県の財政負担が今後も増加し続ける中、健全な県政運営に取り組むための、「中期財政計画」（令和7年から10年間）が明示されました。近年の財源不足は毎年500億円程度で、高齢化に伴う社会保障関係費や金利政策の影響を受ける公債費などが上昇しています。大災害に備えた国土強靱化・県土強靱化対策や物価高騰などの影響も少なくありません。県は、新県立図書館や浜松野球場などのビックプロジェクトを計画しており、現在1兆5,882億円の県債残高を令和16年末に1,000億円程度削減する目標を立て厳しい財政状況の改善を進めていくからです。

## 3. 令和7年度 静岡県当初予算

令和7年度静岡県一般会計当初予算 **1兆3723億円 成立** (前年比563億円増＝過去最大)

### 県民の命を守る!!

#### ■ 県単独生活環境整備事業等

- 県単独生活環境整備事業(道路改良、河川改良、土砂災害防止施設整備、港湾施設改良 等)
- 命と暮らしを守る道路緊急対策事業費(新規)(局所的な道路拡幅、道路案内の適正化 等)
- 緊急豪雨対策強化事業費(新規)(河道の拡幅、老朽化護岸の改修、擁壁整備 等)
- 緊急自然災害防止対策事業費(道路冠水対策、護岸の整備、砂防堰堤の整備、防波堤かさ上げ 等)
- 県土強靱化対策事業費(緊急輸送路の法面対策、河川内や砂防堰堤等の土砂撤去、港湾の土砂撤去 等)
- 安全で美しい県土環境保全事業費(県管理道路の雑草の除去、防草対策)
- 緊急交通安全対策事業費(区画線の再設置)

**総額420億円**

For example) 県当局に要望し、実現した主な事業を紹介します

### 県民の生活を守る!!

#### ■ 物価高対策

- LPガス料金の負担軽減、こども食堂の運営費支援、
- 農業者、漁業者が使用する燃料・飼料代への支援 等

**総額58億600万円**

### 県民の暮らしを守る!!

#### ■ 信号機の新設・LED化、道路標識等の整備

- 信号柱の老朽化対策、警察官16人増員(サイバー犯罪、闇バイト対策) 等 (2月補正を含む)

**総額84億2600万円**

#### ■ 犯罪被害者等支援推進事業費

**4410万円**





## 農林水産業

- 県産品販路拡大関連事業 **9億8400万円**  
首都圏、海外に向けた本県農林水産物の販路拡大
- 静岡茶再生のための生産基盤強化 **4億2653万円**  
静岡茶統一ブランドの戦略展開・静岡茶海外戦略展開支援(新規)  
輸出向け品種転換等による生産体制強化の支援 等
- 担い手づくり総合支援 **43億3600万円**
- 浜名湖アサリ資源回復実証プロジェクト事業費 **3100万円**

## 医療

- 医師確保関連事業費 **47億5400万円**
- 医療機関等職場環境整備等事業費助成 (2月補正含む) **22億7400万円**
- 医師偏在化対策強化事業費助成 **1億円**

## 福祉

- 介護・障害福祉人材確保・職場環境改善等事業費助成(2月補正含む) **35億3000万円**
- 介護保険関連施設設備事業費助成 **27億2400万円**
- 特別支援学校の施設整備 **32億6000万円**

## 教育

- 県立学校長寿命化・修繕等関連事業費 **136億2100万円**  
老朽化した県立高校の建替え、トイレの洋式化他
- スクール・サポート・スタッフ配置事業費 **5億3500万円**  
小中学校全校に事務作業を支援するスタッフを配置

## 文化振興

- 富士山世界遺産関連事業費 **4億9500万円**  
富士山の登山規制や安全対策・保全管理

## 国際交流

- 海外からの活力取り込み推進事業費 **3300万円**  
友好協定を活かしたインドの高度人材の確保

## 観光

- 観光施設整備事業費 **11億円**  
市町の観光地域づくり整備計画にもとづく支援  
観光関連施設のバリアフリー化への支援(補助率1/2)

## 4. インド グジャラート州訪問

12月23日から25日までの間、インド西部のグジャラート州を知事及び県職員と県議会日印友好議員連盟に所属する代表議員10名（静岡県議会産業振興等海外事情調査団）および浜松市団、経済関係、報道関係の総勢70名を超える人員で訪れました。

目的は本県訪問団が経済的恩恵や優秀な外国人材の獲得が見込まれるインド グジャラート州を訪問し、地方政府同士との包括的な連携関係を構築するのが目的です。

訪問先は、インドに進出している本県に本社があるスズキモーターグジャラート、マンダル工業団地、国際金融技術都市、日本の新幹線技術が導入された高速鉄道駅建設現場、グジャラート州政府表敬訪問、アーメダバード経営協会、グジャラート大学等です。

特に、今回のハイライトは、インド政府が承認した静岡県とグジャラート州との友好協定締結です。インドでは、政府が承認することが海外地方自治体との協定に必要ということで、渡印直前に認可が下りました。

インドのとの交流は、我が国が直面している問題に急激な人口減少と人材確保が喫緊の課題となっています。人材確保は多くの分野で共通の課題を抱えていますが、世界的に進化しているIT関連は、優秀な技術者の確保が重要となります。

本県では、令和4年以降、インド人材と県内企業の就職面接会（インド人材マッチング機会創出事業）を実施してきました。その後、本県はインドとの地域外交を重点交流先と決定し、インド政府関係者や経済界などとの交流を深めています。

### ◆2月議会で決定した国へ提出される意見書

- ①闇バイトによる犯罪の防止に向けた取組のさらなる強化を求める
- ②リハビリテーション専門職（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）の処遇改善を求める
- ③災害時における避難所生活の環境改善を求める
- ④愛玩動物を虐待から守るための法整備を求める
- ⑤聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める

### ♥ホットなつばやき

政治とカネ問題で政治に対する信頼が大きく失墜しています。今後、この重要な課題にどう取り組み、信頼回復につながるか、地方議会に関わる政治家も襟を正していかなければなりません。何よりも優先すべきは、政策論争が二の次になってしまうことであり、県政の停滞につながることは避けなければなりません。県民の皆様の声が私たちにとって最重要であり、今後もしっかりと耳を傾けていきたいと思えます。

### 県政相談窓口 ♥お気軽にどうぞ！

地域の課題、道路・河川等の整備等についてのご相談窓口です。ご相談いただいた内容については、必要に応じ関係機関と調整しますが、内容に応じてお時間がかかることもありますので、ご容赦下さい。

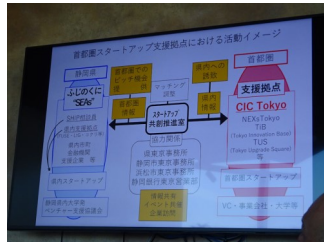
## 5. 議会外の視察・研究報告



12月24日、インド西部グジャラート州で行われた、包括的友好協定調印セレモニーに知事と参加。



1月13日夜、宮崎県周辺での地震により、昨年に引き続いて「南海トラフ地震臨時情報」が発令され、推移を見守る。



静岡県が取り組むスタートアップ戦略の一環として、東京にあるCICセンターを視察。県職員も派遣されている。



シリコンバレービジネスウェブセミナーを聴講。講師は私がお世話になっている、スタンフォード大学の池野先生。

## 6. 地域の課題と進捗状況（各地の要望等から）



市内では、公共交通の衰退が大きな課題。新富士駅と在来線駅との交通手段確保も。自動運転バスを体験。



富士市国際交流フェアの韓国ブースにて。市内在住の関係者が熱心に多文化共生に向けた理解促進に活躍。



2月に開催された富士市ものづくり交流フェアでは、ステンレス加工の会社が新たな分野に進出。熱心な説明を傾聴。



富士市まちの駅20周年にて富士市の「だるまプロジェクト」を聴講。市内にある文化的資産などの活用期待。

発行者：静岡県議会議員 鈴木すみよし事務所

「県政相談窓口」および「らしんばん」連絡先

静岡県富士市比奈1418番地の2〒417-0847

☎ 0545-34-0683 FAX.0545-38-0070

メールアドレス himena@tokai.or.jp

ホームページ <http://sumiyoshi.info/>

ブログ <http://blog.goo.ne.jp/sumiyoshi1956/>

